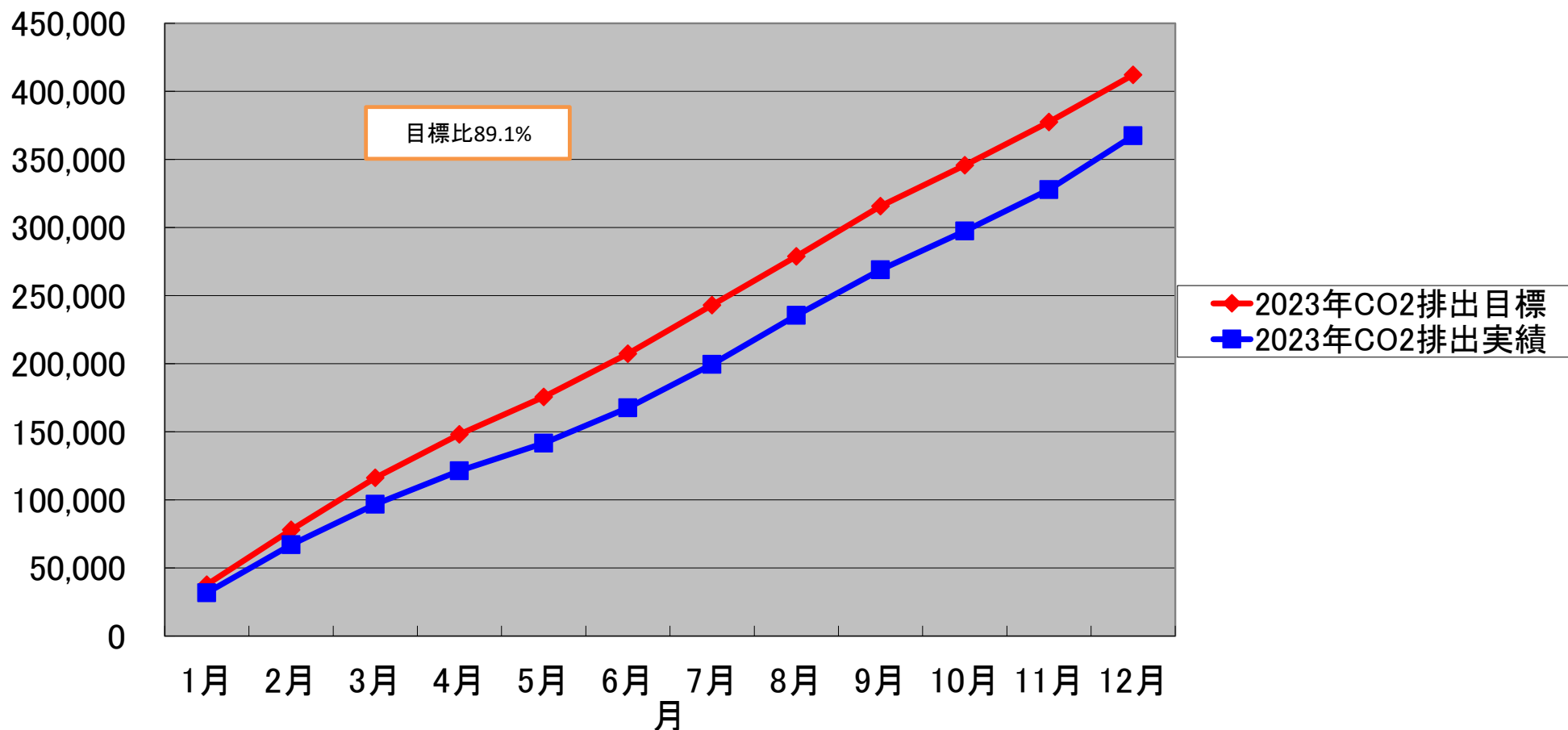


山又製作所 全事業所 2023年CO<sub>2</sub>管理計画 目標 8.7% 増

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年CO <sub>2</sub> 排出目標	37,805	78,055	116,268	148,142	175,566	207,430	243,056	278,895	315,698	345,711	377,497	412,204
2023年CO <sub>2</sub> 排出実績	31,753	67,131	96,807	121,302	141,619	167,572	199,561	235,612	268,959	297,474	327,908	367,434
目標 - 実績	6,052	10,924	19,461	26,840	33,947	39,858	43,495	43,283	46,739	48,237	49,589	44,770



全事業所 2023年CO<sub>2</sub>管理表 目標 8.7%増





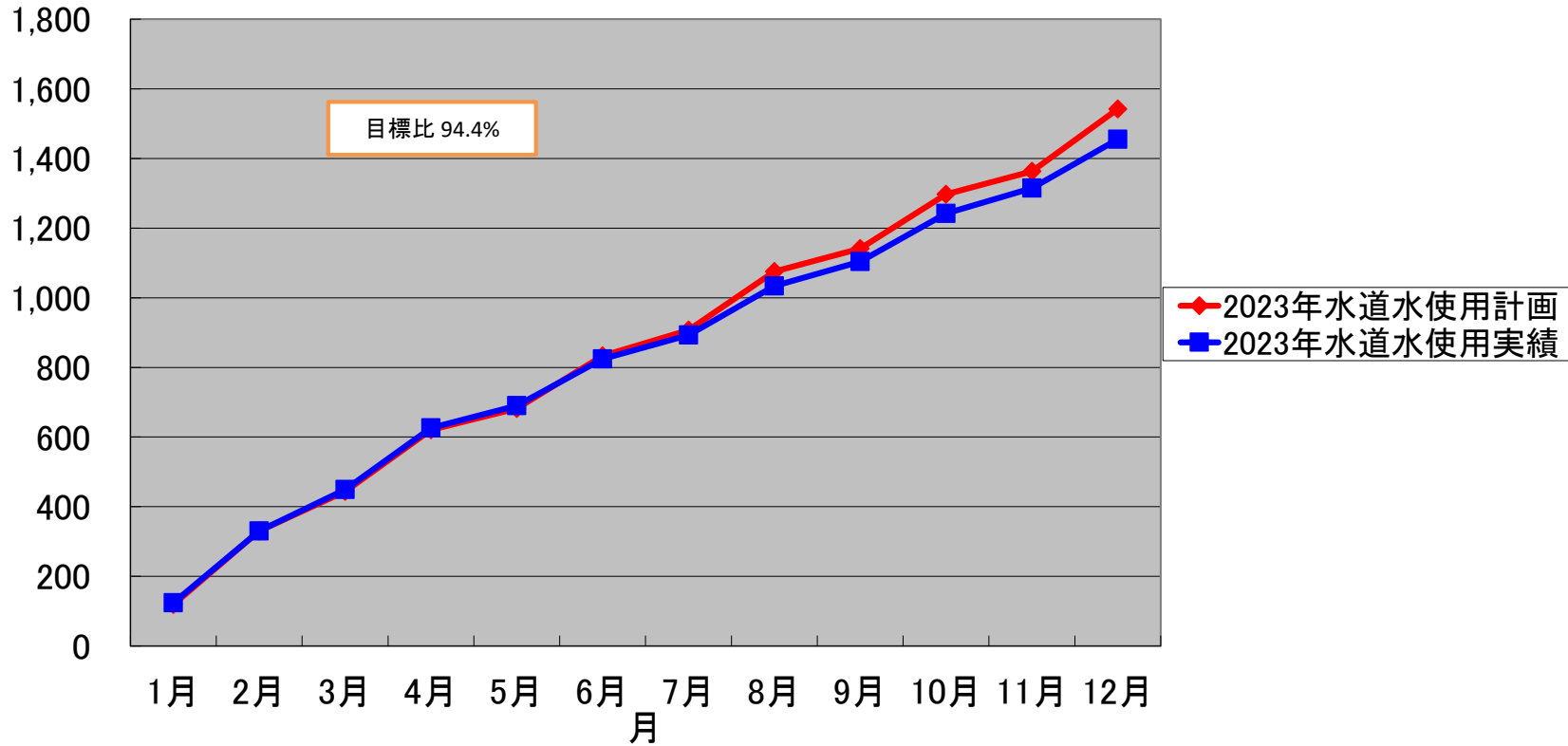
山又製作所/全事業所2023年水道水 管理計画/目標 3.7% 減

( 単位 : m<sup>3</sup> )

総務  
2024/1/19  
渡辺佑

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年水道水使用計画	119	330	444	621	682	833	907	1,075	1,141	1,297	1,363	1,542
2023年水道水使用実績	124	330	449	626	690	824	893	1,034	1,104	1,242	1,315	1,455
目標 - 実績	-5	0	-5	-5	-8	9	14	41	37	55	48	87

全事業所 2023年水道水 管理表 目標 3.7% 減



■東京工場 目標値:前年比 3.1%減 (単位: m³)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2016年水道水使用実績	0	32	0	35	0	32	0	35	0	40	0	42	216
2017年水道水使用実績	0	40	0	46	0	48	0	48	0	47	0	48	277
2018年水道水使用実績	0	43	0	43	0	46	0	41	0	40	0	40	253
2019年水道水使用実績	0	34	0	34	0	31	0	34	0	31	0	34	198
2020年水道水使用実績	0	37	0	38	0	35	0	34	0	38	0	50	232
2021年水道水使用実績	0	37	0	41	0	39	0	36	0	40	0	41	234
2022年水道水使用実績	0	39	0	38	0	35	0	33	0	34	0	40	219
2023年水道水使用目標	0	38	0	37	0	34	0	32	0	33	0	38	212
2023年水道水使用実績	0	31	0	33	0	31	0	29	0	30	0	32	186

■宇都宮工場 目標値:前年比 0.6%減

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2016年水道水使用実績	0	51	0	48	0	46	0	45	0	48	0	51	289
2017年水道水使用実績	0	52	0	47	0	45	0	41	0	45	0	42	272
2018年水道水使用実績	0	41	0	45	0	40	0	47	0	40	0	47	260
2019年水道水使用実績	0	45	0	43	0	36	0	46	0	49	0	42	261
2020年水道水使用実績	0	42	0	47	0	50	0	52	0	47	0	56	294
2021年水道水使用実績	0	50	0	54	0	53	0	61	0	54	0	56	328
2022年水道水使用実績	0	54	0	57	0	52	0	53	0	48	0	52	316
2023年水道水使用目標	0	53	0	56	0	51	0	52	0	47	0	55	314
2023年水道水使用実績	0	46	0	46	0	37	0	40	0	40	0	36	245

■福島工場 目標値:前年比 14.69%減

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2016年水道水使用実績	26	27	28	31	24	29	34	37	28	27	28	29	348
2017年水道水使用実績	28	28	30	31	35	37	42	42	40	43	57	55	468
2018年水道水使用実績	58	54	53	59	45	49	60	55	43	34	42	38	590
2019年水道水使用実績	35	33	32	34	29	34	36	36	31	31	32	32	395
2020年水道水使用実績	27	26	28	23	29	29	33	29	32	31	35	79	401
2021年水道水使用実績	37	32	45	37	32	45	47	44	36	35	42	34	466
2022年水道水使用実績	34	36	30	36	36	38	41	49	30	42	49	36	457
2023年水道水使用目標	30	31	25	31	31	34	36	44	26	37	25	40	390
2023年水道水使用実績	35	40	30	31	32	34	30	33	31	29	33	27	385

■山形工場 目標値:前年比 2.6%増

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2016年水道水使用実績	67	67	67	53	70	69	64	59	72	72	72	68	800
2017年水道水使用実績	89	89	89	79	55	52	54	41	43	39	47	55	732
2018年水道水使用実績	89	89	89	79	52	53	47	55	39	42	58	57	749
2019年水道水使用実績	89	89	89	59	41	38	38	39	37	39	39	40	637
2020年水道水使用実績	89	89	89	38	30	30	32	38	38	38	39	39	589
2021年水道水使用実績	89	89	89	54	29	32	36	40	40	38	40	47	623
2022年水道水使用実績	89	89	89	52	31	31	34	39	39	38	39	40	610
2023年水道水使用目標	89	89	89	53	30	32	38	40	40	39	41	46	626
2023年水道水使用実績	89	89	89	67	32	32	39	39	39	39	40	45	639

■全事業所 目標値:前年比 3.7%減

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2016年水道水使用実績	93	177	95	167	94	176	98	176	100	187	100	190	1,653
2017年水道水使用実績	117	209	119	203	90	182	96	172	83	174	104	200	1,749
2018年水道水使用実績	147	227	142	226	97	188	107	198	82	156	100	182	1,852
2019年水道水使用実績	124	201	121	170	70	139	74	155	68	150	71	148	1,491
2020年水道水使用実績	116	194	117	146	59	144	65	153	70	154	74	0	1,292
2021年水道水使用実績	126	208	134	186	61	169	83	181	76	167	82	178	1,651
2022年水道水使用実績	123	218	119	183	67	156	75	174	69	162	88	168	1,602
2023年水道水使用目標	119	211	114	177	61	151	74	168	66	156	66	179	1,542
2023年水道水使用実績	124	206	119	177	64	134	69	141	70	138	73	140	1,455
目標 - 実績	-5	5	-5	0	-3	17	5	27	-4	18	-7	39	
累計	-5	0	-5	-5	-8	9	14	41	37	55	48	87	

## 1. 2023年の環境活動を振り返って

まずCO2排出量に関しては、福島工場を除きすべての工場で目標値を下回る数字を残すことができた。ただ福島工場の増加に関しては、コロナ禍前に実施していた活動の復活が要因で事前予測は難しかったといえよう。

一方、生産高を見てみると、目標値に遠く及ばない79.7%の減産という結果に終わった。CO2排出量が少なくなったのは、生産量の減産が大きな要因を占めているといえよう。また、2023年は各工場の内部監査を実施できなかった点も反省の1つとして挙げられる。

## ◇CO2排出実績（単位:トン）

工場名	目標値	実績値	増減率
東京	39.0	35.0	90%
宇都宮	143.8	130.0	90%
福島	43.5	46.5	107%
山形	185.8	156.0	84%
全社	412.2	367.4	89.1%

## ◇生産高実績（単位：百万円）

工場名	目標値	実績値	増減率
東京	256.4	197.2	77%
宇都宮	301.5	273.2	91%
福島	232.6	199.3	86%
山形	852.2	639.6	75%
全社	1643	1309	79.7%

目標値に対し、**約11.9%減**という結果となった。目標値の**約20.3%減産**におわった。

**★CO2排出量は目標値を大幅に減少することができたが、  
生産量の大きな減産が影響していると考えられる。**

## ◇その他の活動項目

- 化石燃料の管理（低燃費の社用車の導入や、納品回数の管理の徹底）
- 緑化推進活動（会社回りの清掃・除草作業、壁面緑化活動を実施、山形工場）
- 電気のLED化の促進
- 貯水池での養魚育成（福島工場）

## 2. 2023年に実施した諸活動

- ◇3月・FUJITSU UT（株）様よりCSR調査依頼があり回答。
- ◇6月・富士通アイソテック様より環境活動調査依頼があり回答。
- ◇7月・富士通アイソテック様よりCSR調査依頼があり回答。  
・富士通グループよりグリーン調達基準、化学物質含有規制適合要求共通仕様書が配布され、社内全工場に周知。
- ◇10月・宇都宮工場にて避難訓練、ならびに従業員安否確認を実施。

## 3. 2024年の活動目標

- ◇今年度のCO2排出量は昨年度比2.3%増、水道水は1.1%増を目標に活動を行う。  
→宇都宮工場のレーザー複合機の稼働（上半期）。  
山形工場組立、板金部門ともに増産の見込み。

## 4. 2024年の活動に向けて

- ◇従業員全員で引き続き感染症対策を万全にし、全工場の操業停止を絶対に阻止する。
- ◇活動目標は例年通り各工場の設定を尊重し、全社事務局はその達成を支援する。
- ◇各工場は毎月、活動項目の成否とその結果を把握し、計画推移と実績の把握を行う。
- ◇各工場の従業員全員で目標数値を共有し、環境活動への参加意識の向上をより一層目指す。
- ◇工場立地地域の皆様とともに、地域に密着した環境活動を展開する。

# エコやままた総括(東京工場)

## ①総括にあたって

＜2023年:活動目標＞ (単位:kg)

工場	2022	2023
東京第一工場	13,204	10,406
東京第二工場	9,689	9,528
総務	592	571
車両	19,146	18,500
合計	42,631	39,005



＜2023年:活動実績＞ (単位:kg)

工場	2022	2023
東京第一工場	13,204	11,175
東京第二工場	9,689	7,930
総務	592	625
車両	19,146	15,251
合計	42,631	34,981

※2022年は実績値

2023年は前年比8.1%減を目標に活動。  
目標値を2倍以上超える17.9%減を達成することができた。

## ②生産高の状況による補正

＜2023年:生産高＞ (単位:百万円)

工場	計画	実績	減少率
東京第一工場	155.2	108.7	70.0%
東京第二工場	101.2	88.5	87.5%

生産高は両工場とも計画値を下回った。  
その結果を踏まえて、CO2の目標値に補正を加えてみる。

＜2022、23年:活動実績&減少率＞ (単位:kg)

工場	2022	2023(目標)	2023(実績)
東京第一工場	13,204	7,284	11,175
東京第二工場	9,689	8,337	7,930
総務	592	571	625
車両	19,146	18,500	15,251
合計	42,631	34,692	34,981
増加率	-	18.6%減	17.9%減

※2022年目標値は、生産高補正済み

目標値を補正した結果、生産高増に伴い前年度の18.6%減という数字に。  
実績は17.9%減なので、補正後の目標値を下回ることではできなかった。

### ＜総括＞

- ・東京工場全体として当初の目標値を大幅に超える削減率を達成することができた。  
ただし、生産高が計画を大きく下回ったことにより、補正後の目標値はクリアすることができなかった。
- ・工場別に見ると昨年も総務の数字が悪かった。今年こそ目標クリアとしたい。

作成	承認
山又 2024/01/29 渡辺(佑)	山又 2024/01/29 渡辺(芳)

# ECO山又東京第一工場、令和5年度総括

2024.1.29

## 1) CO2排出目標値

- ・ 令和4年のCO2排出量と比較し、21.5%減を目標に活動

## 2) 活動項目

- \* 電気
  - ・ 冬場の設定温度を0.5℃下げて稼働。
- \* ガス
  - ・ 湯沸かし器の温度設定を「低」にする。
- \* 水道
  - ・ 夏場以降、節水道具を用いて削減を目指す。
  - ・ コロナの影響により、うがい、手洗いを徹底
- \*
  - ・ 会社回りの鉢植え増やし緑を増やす
  - ・ 会社回りの掃除、整理整頓の実施
  - ・ コロナの影響により換気を徹底

## 3) 活動結果

<2023年:活動実績【昨年比】>

2022	2023	差異
13,204	11,175	2,029

(単位:kg)

<2023年:活動実績> (単位:kg)

項目	目標値	実績値	差異
排出量	10,406	11,175	-769

昨年よりも排出量を減らすことができたが、目標値には届かなかった。

## 4) 生産高補正

<2023年:生産高>

計画	実績	伸び率
155.2	108.7	70.0%

※単位は百万円

補正



<2023年:活動実績【補正後】>

項目	目標値	実績値	差異
排出量	7,284	11,175	-3,891

※単位はkg

- ・ 計画値を約30%下回った。

生産高を目標値に補正すると、さらに実績値が上回った。生産高にそぐわない数値となった。

## 5) 考察

<2022、23年:活動実績>

項目	2022	2023
電気	12,961	11,024
ガス	229	139
水道	13.6	12.8
合計	13,204	11,175

※CO2排出量

※単位:kg

全項目において前年の数値を下回ることができた。社員数の減少も削減効果の理由に挙げられるが、そもそも21.5%減という大きい数値が目標だったので、15.4%減という数字も十分及第点といえよう。

## 7) 今年に向けて

- ・ **2024年は前年比11.9%減で活動する。**
- ・ 夏場のエアコン使用時間の削減を努力目標とする。
- ・ より節電意識を高め、緑化活動などに取り組めるようにする。

作成	承認
総務 2024/01/29	東京工場 2024/1/29
渡辺佑	早坂



# ECO山又東京第二工場2023年度総括

2024.1.29

## 1.CO2排出削減目標

### <2023年:活動目標>

	2022	2023	
排出量	9,689	9,528	2.9%減

※2023年は目標値

2022年から2.9%減と設定し活動した。

## 2.活動項目

- ・電気 休日出勤の1割減、エアコン増により夏場の使用量増加が見込まれる
- ・ガス ガスストーブ使用時間の減少
- ・水道 蛇口絞りの徹底(継続目標)

## 3.活動結果

### <2023年:活動実績>

	2022	2023
排出量	9,689	7,930

### <2023年:活動実績>

(単位:kg)

	目標値	実績値	達成率
2023	9,528	7,930	120.1%

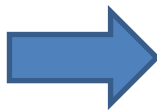
2023年は前年を大幅に下回る数値を記録。目標も達成することができた。

## 4.生産高の補正

### <2023年:生産高>

計画	実績	減少率
101.2	88.5	87.5%

※単位は百万円



### <2023年:活動実績>

(単位:kg)

	補正後	実績	達成率
排出量	8,337	7,930	105.1%

生産高は計画値の87.5%にとどまった。

生産高を目標値に補正したが、排出量は補正後の数字を下回った。

## 5.各項目におけるCO2排出量

### <2023年:各項目別CO2排出量【昨年比】>

月	2022	2023	減少率
電気	8,834	7,315	83%
ガス	827	594	72%
水道	27	21	77%

### <2022年:休日出勤日数【昨年比】>

月	2022	2023
日数	103	75

2023年は各項目で前年を下回る数値を残すことができた。

従業員の削減意識が高まってきていることがわかる。

また休日出勤に関しても2022年よりも大幅に減少。  
生産高に左右される面はあるが、目標達成できたことは大きい。

## 6.2024年活動予定

2024年は前年比12.2%減を目標に活動する。

- ・電気 残業時間の削減を目標とする。
- ・水道 水を出しっぱなしにしないようにする(継続目標)。
- ・ガス ガスストーブ使用時間の減少(継続目標)。

作成	承認
総務 2024/01/29 渡辺佑	東京工場 2024/1/29 山口



# エコやままた総括(総務)

2024.1.25

## ①総括をするにあたって

### <2023年:活動目標>

項目	2022	2023
排出量	592	571 (2.8%減)

※単位はkg  
※2023年は目標値

2023年度は前年比2.8%減を目標に活動した。

## ②2023年の活動総括

### <2023年:活動総括>

項目	2022	2023
電気	589	622
水道	2.8	3.4
合計	558	625 (5.7%増)

※単位はkg  
※2023年は実績値  
※ガスは使用せず

電気、水道ともに使用量が増加し、5.7%増という結果になった。

### <2022・23年:時期別Co2排出量比較(電気)>

月	2022年	2023年	増減率
4~9月	272	296	109%
10~3月	317	326	103%
通年	589	622	106%

※単位はkg

寒い時期、暑い時期に電気使用量が増加したが、夏の方が上昇率が高かった。

### <総括>

- ・電気使用量が昨年も大幅に上がった。
- ・冬場に比べ夏の暑さでエアコン使用量が増加したので、今年こそ工夫して作動させなければならない。

## ③2024年の活動予定

☆電気、緑化活動を活動項目として、前年比1.5%減を目標とする。

- ・電気…冷房の使用時間の見直し
- ・緑化…観葉植物の管理(継続活動)

作成	承認
山又 2024/01/25 渡辺(佑)	山又 2024/01/25 渡辺(芳)

# エコやままた総括(ガソリン)

2024.1.25

## ①総括をするにあたって

### <2023年活動目標>

	2022	2023	
排出量	19,146	18,500	1.4%減

※単位はkg

2023年度は前年比1.4%減を目標に活動した。

## ②2023年の活動総括

### <2023年活動>

	目標	実績	
排出量	18,500	15,251	17.6%減

※単位はkg

目標値の17.6%減という数字を残すことができた。また前年比も20.3%減と大幅に減少することができた。

### <参考:車両別ガソリン・軽油使用量>

車両	2022	2023	差異
ハイエース	6,238	4,575	-1,663
プロボックス	1,644	1,572	-72
トヨエース	329	323	-6
合計	9,926	8,211	-1,715

※単位はリットル

※ハイエースは10月途中より軽油に変更。

### <ハイエース:年度別使用量>

年度	ハイエース
2021	8,262
2022	6,238
2023	4,575

※単位はリットル

生産高減少に伴いハイエースの便数を減少した影響もあり、大幅に燃料使用量が減少していることが分かる。

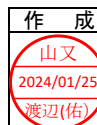
### <総括>

- ・車両燃料は、2022年より大幅に数値が減少。
- ・主要車両であるハイエースの使用量が大幅に減少したことが理由として挙げられる。
- ・生産高に左右される面はあるが、引き続き上手く配車していきたいところ。

## ③2024年の活動予定

☆エコ・ドライブを活動項目とし、前年比5.0%削減を目標とする。

- ・Co2削減を意識して、引き続きエコドライブを心がけていきたい。
- ・ハイエースが軽油となり、ガソリンよりも排出量係数が高くなる。うまく配車して、数量減少を目指す。



## 1. 2023年度を省みて

## (1) 活動内容および結果

今年度の活動行動は電気使用量、ガソリンの削減により前年比でのCO2削減0.1%の目標を立て、活動を開始した。

- 【電気】デマンド設定値の変更(171kw→165kw)による電気削減
- 【ガソリン】環境に配慮した運転に努める(燃費による削減)
- 【軽油】環境に配慮した運転に努める(燃費による削減)

## 活動結果 CO2 排出実績

	目標(kg)	実績(kg)	成果(kg)	達成率(%)
電気	127,909	109,540	18,369	86
LPガス	85.1	70.8	14	83
ガソリン	3,673	4,560	-887	124
軽油	12,181	15,793	-3,612	130
効果合計	143,848	129,964	13,884	90

目標143,848kgに対して実績129,964kgと13,884kg削減し目標達成でした。

## (2) 生産高動向

(単位：百万円)

	生産額	目標比伸び率
2022年活動計画作成当初	302百万	
2023生産高実績	273百万	90.6%

生産高は当計画作成時302百万円と予測しましたが、実績は273百万円と達成率は90.6%となり、CO2 排出量目標比で9.4%の効果となりました。

## 2. 各項目別の反省点

- 電気… 所要減により機械の稼働が減少した事で目標達成になりました。
- LPガス… 特になし
- ガソリン… 富士新工場の新ラインの準備で移動する事が増えた事で達成率124%とオーバーしましたが生産高比の伸び率で見るとCO2を抑える事が出来ました。
- 軽油… 5月から2回/月、平君の山形への帰郷が計画外だった為、達成率が130%とオーバーしてしまいました。

## 3. 来年度に向けて

2023年はコロナの影響で植樹など環境活動が出来なくなり思うような活動が出来ませんでした。2024年も、密な状況での環境活動は、困難なため、社内緑化やリモートでの環境活動を引き続き推進します。  
また前年同様、環境行動計画に基づき電気、ガス、水道、ガソリン、軽油の各項目を管理します。

## 4. 評価と見直し(早坂工場長)

達成率は90%となりましたがそれに対して生産高実績の目標比の伸び率が90.6%とCO2 排出量目標比で9.4%の効果とわずかですが良い結果を出す事が出来ました。今期、宇都宮工場としては、前期同様、生産活動を通じて作業環境の改善、加工時間の短縮、取組、電力使用量の取り組むと共に、消耗品・消耗工具購入費の削減を推進します。  
不良低減活動、さらには、不要な照明の消灯等に取組、電力使用量の取り組むと共に、消耗品・消耗工具購入費の削減を推進します。

## 1、2023年を省みて

今年は生産高の予測、2022年の活動実績から、CO<sub>2</sub>削減目標約5%減を掲げて活動を開始しました。

## 活動項目

- 電気の使用節電（デマンド設定値の変更、残業休日の削減、その他）
- ガソリンの使用節減（相乗り、その他）
- 軽油の使用節減（納品回数の低減、ワゴン車で納品、その他）
- 水道水の使用節水（節水コマの使用）
- 緑化・生物多様性の推進（壁面緑化、ゴミ拾い、草刈、その他）

活動結果 Co<sub>2</sub>排出実績

(単位:Kg)

項目	目標	実績	差異	達成率
電気	37,358	39,213	-1,855	105%
ガソリン	2,362	2,973	-611	126%
軽油	3,587	4,072	-485	114%
水道水	219	216	3	99%
コピー用紙	157	159	-2	101%
合計	43,526	46,474	-2,948	107%

福島工場は、Co<sub>2</sub>削減目標を前年比約5%減として活動を展開してきました。デマンドの設定値変更や残業休日の削減、ガソリン、軽油、水道水の節減を活動に展開してきましたが、全体的に目標をオーバーし、特にガソリンと軽油の使用量が増えてしまい目標達成とは成りませんでした。

## 生産高

(単位:百万円)

部門	計画作成時	生産高実績	差異	伸び率
福島工場	232.6	185.6	-47.0	79.8%

生産高は当計画作成時約232.6百万円と予測しましたが、実績は185.6百万円と、達成率は約80%となり約20%の減でした。

## 結論(まとめ)

- ・ 福島工場は生産高約80%(前年計画比)と、約20%減っているのに対し、CO<sub>2</sub>排出は約107%とCO<sub>2</sub>排出目標比が約7%増となりました。
- ・ 電気使用量も、夏場に猛暑日が続く、冷房の使用期間が長くなり増えてしまいました。
- ・ またガソリン・軽油ですが、装置の修理・点検の仕事が始まり車を使用した事で、ガソリン・軽油の使用量が増えました。
- ・ また貯水池の養魚も少しずつ増え、継続実施しております。

## 2、今年の反省

- ・今回は、ガソリン・軽油が増えてますが、コロナ禍で昨年まで点検・修理の依頼が無かった為、車の使用が少なかったが、今回より点検と修理があったので、使用量が増えました。また電気では、蛍光灯のLED化へ数台変更出来たので、今後も継続したいと思います。

## 3、来年に向けて

- ・今回使用量が多かったガソリン・軽油ですが、今後も引き続き継続して節量活動を監視したいと思います。  
また2階現場の蛍光灯を、LEDへ少しづつ交換をし節電活動を継続して行きたいと思えます。

## 4、工場長総括

- ・今年度は生産高約80%(前年計画比)に対し、CO2排出約107%と目標値をオーバーしましたが、車の使用回数が増え、ガソリン・軽油の使用量が増えたのが要因です。

来期も目標達成出来る様、全員で取り組み日々の活動を継続します。



# ECOやままた 山形工場 総括

山形工場環境推進委員会

## 1、2023年を省みて

2023年度は生産高の予測、昨年度の活動実績から、CO2削減目標 +1.2%を掲げて活動を開始しました。

### 活動項目

- 電気の使用節電            デマンド管理の継続  
   機械加工部 LED交換
- ガソリン、軽油の使用節減   省エネ運転の推進   暖気運転削減  
   週毎の運送の計画（月曜日朝のミーティングにて相談）
- 水資源保護                    雨水リサイクル（バリ取り機・バレル・エアコンの冷却に使用）
- 緑化・生物多様性の推進    工場周りの環境整備  
   工場敷地・裏山の生物多様性MAPの充実化

項目	目標	実績	差異	達成率	(単位:トン)
電気	161.3	133.4	27.9	83%	
ガソリン	1.4	1.7	-0.3	121%	
軽油	22.7	20.5	2.2	90%	
水道水	0.2	0.2	0.0	100%	
合計	185.6	155.82	29.8	84%	

計画時よりも減産となり排出量は84%と減になりました。  
県外への納品、打ち合わせが増え燃料の使用量が増えています。

### 生産高

部門	計画作成時	実績(12月予測)	差異	伸び率	(単位:百万円)
装置組立部門	725.8	550.1	-175.7	75.8	
機械加工部門	126.4	108.4	-18.0	85.8	
合計	852.2	658.5	-193.7	77.3	

CO2排出計画作成時の生産高と実績生産高比の伸び率は77.3%になりました。  
内訳として計画時より、装置組立、機械加工の受注減になっています。

### CO2 排出実績

項目	CO2 排出量	増減	%	(単位:kg)
計画	185,825			
実績	156,021	(29,804)	-19.1	

### 2023年度活動結果

生産高実績が計画作成時より減産となりました。

内訳として計画時 生産高852.2で185.6tのCO2排出量を見込みましたが、生産実績は658.5で77.3%強の減産になりました

## 2、今年(2023年)の活動の成果と反省点

電気使用量は計画時より受注減になりました。

機械加工が計画より減ったため夜間の自動運転が減り電機の使用量が減りました。

ガソリン・軽油は、新型コロナの制限も解け会議、納品、打ち合わせも増えてガソリンの使用量が増えています。

移動については、毎週月曜日に車での移動の出先・配車を打ち合わせし無駄の無い行動できるよう努めました。

緑化活動は、会社の回りの清掃・除草作業を、5月に実施しました。

生物多様性に関わる活動として、工場北側の里山の生物生態系MAPを更新できませんでした。

節電、環境整備、裏紙使用、節電等の活動で管理値は増加しましたが昨年と同様に

全従業員が携わる活動が出来たと受け止めています。

### 3、来年に向けて

2024年度は、今年度の活動項目を継承し活動する。

活動項目の、電気・ガソリン・軽油・水道水は、排出量実績と来年度生産計画より目標を設定しました。

電気は東北電力の節電キャンペーンに登録し節電活動を行います。

ガソリン・軽油は、少エネ運転の推進活動を行い、削減活動を継続する。

無駄な自動車の運行をしない様、工場内の連絡を密にとりあい運行管理をする(月曜ミーティングの他の連絡を密にする)

車両毎の、燃料の出し入れを引き続き管理する。

水資源使用量の管理とリサイクルを継続する。

工場周りの環境整備活動を継続して行う(会社周りの雑草の状況を考慮し整備する)

コピー用紙の使用枚数・購入・在庫は、引き続き管理を続行する。

梱包資材のリサイクル(得意先から回収し再利用)

環境の社員教育の充実

2024年度は、上記内容を踏まえて、更に積極的かつ奥深く、全従業員参加の活発な活動を展開したい。

### 4、工場長総括

今年度の山形工場生産高は、計画作成時より77%と減となり、売上が下がり排出量は-19.1%となりました。

減産に伴い、残業・休出等を、なるべく削減し経費を抑えていくことで電気の使用量も抑えました。

来季に関しましては、電気代の値上げと燃料費の高騰での内容となりますが、目標が達成出来るように社員全員で活動を継続していきたいと考えております。

来季の春より電気使用量の値上げともなりますので、節電に心がけて行きます。

